



SKY Perfect JSAT
Holdings Inc.

株主通信

2015年3月期

2014年4月1日～2015年3月31日



変革から成長へ。
新しい未来の夢が、
ひろがります。

株式会社スカパーJSATホールディングス

2015年6月
代表取締役社長

高田 真治



中期経営計画の営業利益目標達成を見込み、今期は株主の皆様への増配を予定しています。

2015年3月期の業績

前期比減収減益となるも、当期純利益は増益に。収益構造に大きな変革があった一年でした。

2015年3月期は「変革の年」と位置付け、2016年3月期を最終年度とする中期経営計画の達成に向けた改革を推し進めました。有料多チャンネル事業においては、昨年5月末のプレミアムサービスの標準画質放送終了により、ハイビジョンサービスへの移行促進のための費用負担がほとんどなくなるなど、収益構造そのものが大きく変化しただけで増収増益となりました。一方、宇宙・衛星事業においては、一時的な官公庁向けの衛星システム導入による収益を計上した前期との比較では、減収減益となりました。これらの結果、連結での営業収益は前期比4.9%減の1,632億円、営業利益は同9.6%減の196億円となりました。当期純利益は、子会社の合併による繰越欠損金の使用等で法人税等が減少したため、同39.9%増の135億円となりました。

今期の取り組み

中期経営計画の営業利益目標を着実に達成し、今後の成長へ向けた各種施策を推し進めます。

2016年3月期は、中期経営計画の最終年度でもあり、その目標達成とさらなる成長に向けた施策を推し進めていきます。

有料多チャンネル事業では、事業の根幹を成す契約者総数と総視聴料収入の拡大を図ります。新規加入獲得だけでなく再加入の増加や解約防止にも注力することで、純増7.5万件、期末累計加入件数353.7万件的達成を目指します。また個々のコンテンツの強化と、お客様のニーズに応える選びやすい商品への改善を通じて、契約世帯当たりの視聴料収入の拡大を図ります。プレミアムサービスについては、本年3月に開局した世界初の4K商用チャンネルなどを軸にした販売促進活動により、加入者の維持・拡大に努めます。「スカパー！ オンデマンド」についても、コンテンツやアプリの強化・拡充で、有料ユーザーのさらなる拡大へつなげていきます。

2015年3月期

営業収益

1,632 億円
前期比 4.9%減
DOWN

営業利益

196 億円
前期比 9.6%減
DOWN

当期純利益

135 億円
前期比 39.9%増
UP

1株当たり 当期純利益

43.85 円
前期29.50円

1株当たり 年間配当金

12.00 円
前期12.00円

す。海外事業については、本年5月に海外向け日本コンテンツチャンネル「WAKUWAKU JAPAN」事業の拡大を目的に事業会社を設立しました。インドネシア、ミャンマーでの放送開始から1年余を経て、日本コンテンツへの強いニーズが改めて実感される中、各国の視聴者ニーズに合った番組編成や認知度の向上を通じて早期収益化を図ります。7月からはシンガポールでの放送も決定いたしました。アジアにとどまらず欧米での展開なども視野に、当社グループの将来の中核事業の一つに育てていきます。

宇宙・衛星事業では、今秋予定している通信衛星「JCSAT-14」の打上げとともに、国内、モバイル、グローバルの3つの市場への営業を強化していきます。国内市場では、防災プラットフォームサービス「EsBird」が本年5月より高速道路会社3社向けにサービスを提供開始したほか、衛星IPネットワークサービス「ExBird」も原子力防災関連で多様な業種のお客様へと利用が広がっています。今後も、ライフライン系企業を中心とする底堅いBCP(事業継続計画)の需要を捉え、サービスの拡大に向けて取り組みます。モバイル市場では、「JCSAT-14」が南太平洋までの海洋エリアをカバーするビームを搭載しており、船舶向けブロードバンド接続サービス「OceanBB」のさらなる拡充を図っていきます。またグローバル市場では、世界人口の半数以上が集中し、成長が期待されているアジア・オセアニア地域の衛星市場を重点的に開拓していきます。すでに新興国で官公庁関連の新規案件を獲得していますが、「JCSAT-14」の打上げで、これらの地域での衛星需要の取り込みを加速させていきます。

2016年3月期業績予想

両事業とも増収増益を見込み、 営業利益230億円の達成を目指します。

前述の取り組みを通じて、2016年3月期は、有料多チャンネル事業、宇宙・衛星事業ともに増収増益を見込んでおり、連結での業績は、営業収益が前期比2.9%増の1,680億円、営業利益が同17.2%増の230億円、親会社株主に帰属する当期純利益が同7.3%増の145億円を予想しています。防衛省から受託している次期Xバンド事業関連の収益は、当該事業にかかる1号機衛星が打上げ遅延の可能性が高い実情を踏まえ、来期(2017年3月期)に計上する前提となっております。なお、来期に打上げを予定している防衛省向けの2号機衛星はスケジュール通り進捗しております。

株主還元

今期の1株当たり年間配当金は 2円増配の14円を予定しています。

株主の皆様への利益還元につきましては、将来の成長へ向けた投資のための内部留保の充実と安定配当の継続を考慮することを基本方針としています。当期の期末配当金は1株当たり6円とさせていただき、年間配当金は、中間配当金6円と合わせ12円とさせていただきました。なお、2016年3月期については、中期経営計画策定当初の想定を上回る利益水準を見込んでいることから年間配当金は、1株当たり2円増配の14円とさせていただき予定しております。

株主の皆様におかれましては、引き続き当社の成長にご期待いただきながら、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2016年3月期 業績予想

営業収益

1,680 前期比 2.9%増
億円 UP

営業利益

230 前期比 17.2%増
億円 UP

親会社株主に帰属する当期純利益

145 前期比 7.3%増
億円 UP

1株当たり 当期純利益

47.04円
前期43.85円

1株当たり 年間配当金

14.00円
前期12.00円

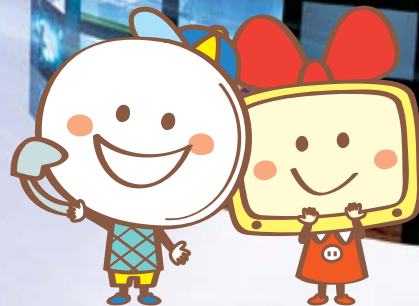
4K時代、 いよいよ到来!

現行のフルハイビジョン放送の4倍の解像度を持つ4K放送。圧倒的な表現力でこれまで体験したことのないリアルな映像が、いよいよスカパー!で楽しみいただけることとなりました。今回の「なるほど! スカパーJSAT」では、当社が世界に先駆けてお送りする4K放送についてお伝えします。

4K放送のパイオニアとして

4K放送ではこれまでのフルハイビジョンよりも高精細で色域が広く、多彩な色彩を表現できるために、より臨場感のある映像表現が可能です。このため、4K放送では大容量の映像データを伝送する必要があり、コストや安定性、信頼性の面で衛星を利用した伝送が最適です。

スカパーJSATは、これまでの衛星放送ビジネスで培ったノウハウを活かして4Kコンテンツの制作や通信衛星への電波の送出を担い、試験放送の段階から積極的に4K放送に取り組んできました。



スカパー!プレミアムサービスで、 世界初の4K商用チャンネルを開局

こうした実績に基づき、スカパーJSATでは、ついに本年3月1日に世界初となる4K専門商用チャンネル『スカパー! 4K映画』『スカパー! 4K総合』をスカパー!プレミアムサービス内でスタートしました。

『スカパー! 4K映画』は、邦画やハリウッド映画などの名作を高精細の映像で放送。『スカパー! 4K総合』は、音楽やスポーツなどの総合エンターテインメント番組を放送しています。特にスポーツ中継はスタジアムでの臨場感がリアルに伝わり、ピッチ全体を映した画面でも画質が鮮明なので、選手たちの連携プレーがよくわかと好評です。4Kチャンネルは、スカパー!プレミアムサービスとスカパー!プレミアムサービス光で提供しています。

映画を見るなら

スカパー! 4K映画

「スター・トレック」シリーズや「スパイダーマン™」シリーズなどのハリウッドメジャー作品を中心に年間40本程度を放送。4Kテレビの大画面でまるで映画館のような臨場感が味わえます。

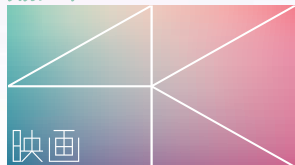
スカパー! 4K 映画(プレミアムサービス Ch.595)

視聴方法 PPD※(540円～/日)

※PPD(ペイ・パー・デー)とは、見たい番組を1日単位で購入でき、視聴した分だけ後日料金を支払う視聴方法で、見たい番組を無駄なく簡単にご覧になれます。

※録画はできません。

スカパー!



魅惑の名場面を
ハイクオリティな
映像で
楽しめます!



音楽やスポーツ、エンターテインメントなら

スカパー! 4K総合

「J1リーグ」は毎節1試合を生中継するほか、プロ野球注目試合や海外ドキュメンタリーなど様々なジャンルを放送していきます。また、7月には「ポール・マッカートニー OUT THERE in 日本武道館」や「MTV Unplugged : Tsuyoshi Nagabuchi」などの音楽ライブも続々と放送予定。

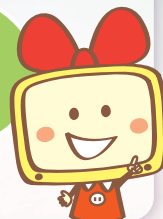
スカパー! 4K 総合(プレミアムサービス Ch.596)

視聴方法 プレミアムサービスのチャンネルまたはバック・セットをご契約の方は**無料**でご視聴いただけます。

スカパー!



豪華なライブ中継を
高精細な4K放送で
お楽しみください。



最新の番組情報はこちらから!

スカパー! 4K公式サイト | <http://www.skyperfectv.co.jp/4k/>

スカパー!プレミアムサービスチューナー内蔵4Kテレビも続々登場。

現在、家電メーカーからスカパー!プレミアムサービスチューナーを内蔵した4K対応テレビやレコーダーなどの機器が続々と登場しています。現在4Kコンテンツを提供しているのはスカパー!プレミアムサービスと試験放送「Channel 4K」のみのため、家電量販店においても4Kテレビの販売とともにスカパー!プレミアムサービスの加入促進活動が推進されています。東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向け、大画面・高画質の4Kテレビは今後日本全国に普及することが期待されています。



COLUMN

宇宙・衛星事業の成長にもつながる4Kの普及

現在は、当社と試験放送「Channel 4K」がパイオニアとして4K映像の美しさ、すばらしさを広めています。今後さらに4Kチャンネルが増えていくことに期待しています。4Kチャンネルが増えると衛星回線の需要が拡大し、当社の宇宙・衛星事業においてもビジネスの拡大を意味

します。また、2016年以降には東経110度に位置する通信衛星回線を利用した衛星基幹放送でも4K放送を展開できるよう、技術検証や環境整備を推進しています。

ようこそ！ スカパー

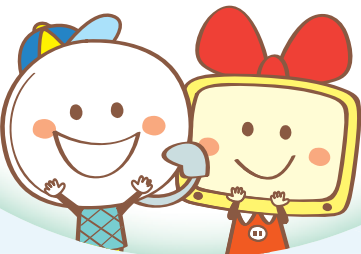
東京メディアセンターへ

誌上見学会

第3回

多彩な番組をつくる、つなぐ、送る。
スカパー！の楽しさを
全国へお届けしています。

株主の皆様に、スカパーJSATの様々な拠点やサービスの
舞台裏をご覧ください誌上見学会。今回は、衛星を通じて
スカパー！の多彩な番組を加入者の皆様へお届けしている
スカパー東京メディアセンターをご紹介します。



ふだんは
見られない
ところも
ご案内します。

高度36,000kmの通信衛星を経由して、スカパー！の番組をお届けします。

スカパー東京メディアセンターの役割は、スカパー！の自主制作番組や他の放送事業者から提供された番組を、地上から約36,000km離れた通信衛星（JCSAT-3A/-4B/-110R）へ送信し、衛星から地上の各ご家庭のアンテナと受信機を通じて放送をお届けすること。3サービス合わせて約600ものチャンネル（デジタルラジオ含む）に加え、スカパー！オンデマンドの送出手も行っていきます。また、衛星から送られてくる番組の映像や音声に乱れや異常がないかモニターで常時監視し、市販されている受信機の動作確認も行っています。さらにカスタマーセンターと連携して、お客様の契約情報を管理することもスカパー東京メディアセンターの仕事です。



プラットフォームマスタールーム

放送に異常がないか
24時間
見守っています



放送
事業者

放送を続けるための高い耐災害性。

大地震や津波など大災害の時も放送を続けるため、建物には震度6強～7の地震に耐えうる免震構造を採用し、津波による浸水を防ぐ水害対策も万全。また、3日間の停電に耐える非常用発電機3基と、3系統のスポットネットワーク受電設備を備えるなど、災害時にも放送を続けられる体制です。



公共性の高い
サービスの
使命だね



スカパー東京メディアセンター
2009年度グッドデザイン賞受賞

パラボラアンテナは
自動で通信衛星の
位置を追尾、
向きを微調整するの



送信
(アップリンク)

送信
(ダウンリンク)

屋上

直径6.4mのパラボラアンテナが8基ありま
す。今後のチャンネル拡大に備え、屋上には
あと4基、パラボラアンテナが設置可能です。

3つあるスタジオでBSスカパー！
の音楽やバラエティなどの番組を
制作したり、他の放送事業者から
提供された複数のコンテンツを決
められた番組編成に従って、番組
を送出(プレイアウト)します。

自主チャンネル
番組収録／番組制作

番組送出
(プレイアウト)

映像・音声

番組情報

映像と音声を圧縮・多重化・暗号化
し、屋上のパラボラアンテナから高度
36,000kmの通信衛星へ送ります
(アップリンク)。通信衛星は送られて
きた番組情報を増幅し、地上へ送信
します(ダウンリンク)。プラットフォーム
マスタールームでは、通信衛星へ番
組を送信しながら、3サービスすべ
のチャンネルの状況を24時間見守っ
ています。

デジタル
符号化

多重化／変調／
暗号化
(スクランブル)

番組情報管理
(EPG)

屋上アンテナから送信

アンテナやチューナーなど受信機
の動作や耐久性を確認していま
す。日本で使用されている殆ど
の機種を受信機を備え、お客様から
のカスタマーセンターへのお問い
合わせのサポートもしています。

受信機器動作
確認



顧客管理
システム

カスタマー
センター

ご見学の締めくくりに



4K番組の提供も、いよいよ本格化。

スカパー！では、今年3月1日に世界初の4K商用チャンネル『スカパー！ 4K映画』、『スカパー！ 4K総合』を開局。その送出拠点も、スカパー東京メディアセンター。4K専用のマスタールームを備え、2つの4K専門チャンネルをお届けしています。4K時代は、スカパー東京メディアセンターから始まります。

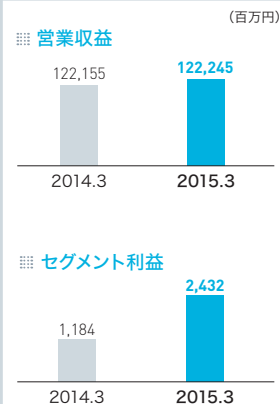
詳しくは3ページをご覧ください



2015年3月期の概況

2015年3月期においては、自由に選べる5チャンネルを月額1,980円(税込)で視聴できる「セレクト5」が、新規顧客の開拓と平均視聴料単価の向上に寄与しました。また「欧州サッカーセット」の価格見直し等による商品強化や10月に行った10日間無料放送、年末年始の一举放送など新規加入者獲得に取り組みました。さらに「BSスカパー！」におけるオリジナル番組の企画やスカパー！初の本格オリジナル連続ドラマの投入などコンテンツを軸としたマーケティングを実施。2015年3月には4K対応テレビ等の視聴環境が整備されつつあることに鑑み4K専用チャンネルを開局しました。「スカパー！オンデマンド」では既存有料放送加入者向けの無料視聴やスポーツのライブ中継拡大などサービス強化に取り組み、登録者増加に貢献しました。

以上の取り組みの結果、営業収益は前期比0.1%増収、セグメント利益はハイビジョンサービスへの移行終了に伴う費用等の減少で前期比105.5%の増益となりました。



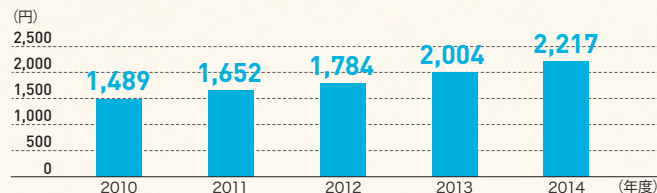
注目 POINT

基幹商品による加入者増と視聴料収入拡大

2015年3月期はプレミアムサービスにおける標準画質サービスの終了により業務手数料収入が減少する一方で、ハイビジョンサービスの加入者増により視聴料収入が増加するなど収益構造が大きく変化しました。「新基本パック」や「セレクト5」などの商品の積極投入で契約者数と総視聴料収入の拡大に取り組み、その効果も出始めています。



ARPU推移



注:ARPU(Average Revenue Per User)は加入者一人当たりの月額視聴料収入を意味し、「基本料」「レンタル会費」「フラット視聴料」「PPV視聴料」「自主コンテンツ収入」から構成されています。

加入の状況

	2014年度 実績	2015年度 目標
新規加入件数		
スカパー！ 合計	42.5万件	48.2万件
スカパー！	36.9万件	39.5万件
スカパー！ プレミアムサービス	4.7万件	7.6万件
スカパー！ プレミアムサービス 光	0.9万件	1.1万件
純増数	△25.5万件*	7.5万件
累計加入件数	346.2万件	353.7万件
ARPU(円)	2,217	—
SAC単価(円)	39,412	—

*スカパー！プレミアムサービスにおける標準画質サービスの終了により、解約件数が一時的に増加した結果です。



WHAT'S NEW



新たな取り組み

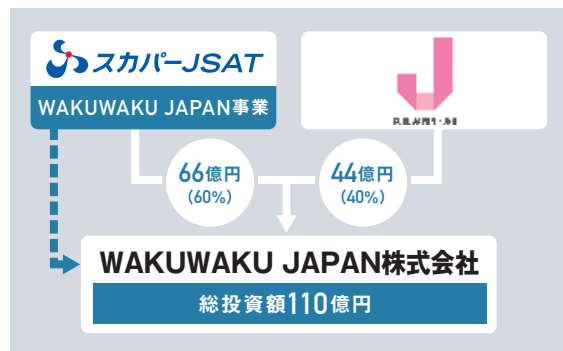
海外事業の拡大に向けた 新会社設立

「WAKUWAKU JAPAN(株)」を通じて 日本コンテンツを世界22か国へ展開

**WakuWaku
JAPAN**

日本コンテンツを海外に向けて24時間放送する「WAKUWAKU JAPAN」の開局から1年が経過し、経験・ノウハウの蓄積に加え、東南アジア諸国における日本コンテンツへの強い関心を確認しました。そこで早期の多国展開による迅速な事業推進と収益化を目指し、2015年5月にWAKUWAKU JAPAN株式会社を設立しました。7月には同事業をスカパーJSATから吸収分割方式で譲受し、さらに第三者割当増資を行い、スカパーJSATとクールジャパン機構が応ずることも決定しています。2020年度までに、アジア以外にも市場規模の大きい北米などを含む22か国、4,100万世帯で展開し、当社グループの中核事業として成長させることを目指していきます。

WAKUWAKU JAPAN株式会社設立スキーム（7/1増資後）



海外でも Jリーグが見られる!

Jリーグの海外放送権の取得と 「Jリーグオンデマンド」の海外配信決定

**スカパー!
オンデマンド**

スカパーJSATは、2015年3月に株式会社Jリーグメディアプロモーションとの間で2015～2019までの5シーズンにわたるJ1、J2リーグ等の海外放送権に関する独占放送権および独占インターネット配信権の取得について合意しました。さらに「スカパー！オンデマンド」のコンテンツとサービス充実に向けて、「Jリーグオンデマンド」の海外配信を決定しました。これにより、日本国内で「Jリーグオンデマンド」をご利用いただいているお客様が海外旅行や出張中でもJリーグをリアルタイムで観戦できるようになるのはもちろんのこと、海外での『WAKUWAKU JAPAN』視聴者にもJリーグの魅力を広くお届けできます。

配信対象国（今後拡大予定）



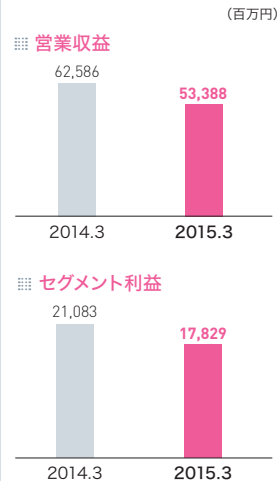
*香港を除く



2015年3月期の概況

2015年3月期においては、引き続き国内BCP(事業継続計画)需要への対応やグローバル事業、モバイル事業の積極展開による収益拡大に取り組みました。災害対策・BCP対策としての衛星通信に対する評価の高まりに対応し、災害対策として有効な「EsBird」「ExBird」等のサービスの拡販に加え、一昨年10月に高速道路会社3社から次期衛星サービスを受注しました。海外では、高成長のアジア市場を中心にサービスが拡大しました。さらに船舶向けブロードバンド接続サービスや航空機内ネット接続サービスにおける衛星回線利用により、移動体衛星通信ビジネスも拡大しました。衛星運用の安定性・信頼性の確保と効率化の一環として、新たに衛星4機の調達を決定しました。そのうちの3機はすでに運用している衛星の後継機、残り1機はkuおよびkaバンド日本ビームの軌道上予備衛星の役割を担います。

以上の取り組みの結果、営業収益は国際サービス収入が増加したものの、プレミアムサービスにおける標準画質サービス終了によるトランスポンダ収入の減少や前期に計上された官公庁向けシステム更新受注の反動により前期比14.7%の減収、セグメント利益は前期比15.4%の減益となりました。

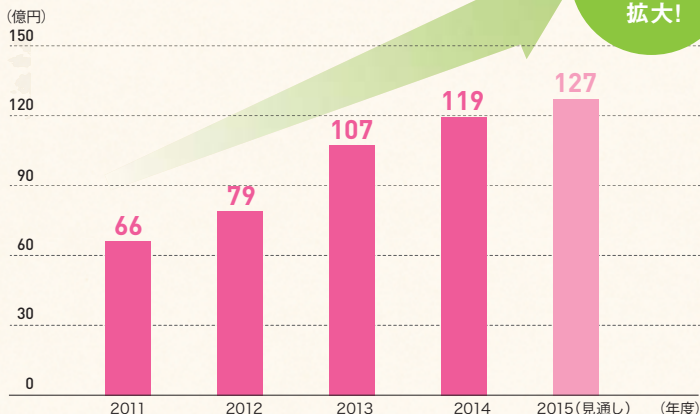


注目 POINT

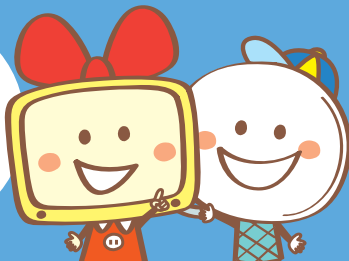
グローバル・モバイル事業で収益拡大

成長が期待されるアジア・オセアニア地域の衛星市場を重点的に開拓した結果、新興国での回線利用が活発化しています。当該地域は世界の人口の半分以上が集中する巨大市場です。同業他社との競争が激しい中、当社グループの積極的な営業活動が奏功し、アジアの新興国で新たに官公庁案件を獲得しました。さらにグローバル・モバイル事業は、宇宙・衛星事業売上上の2割を超え、2010年度から5年間で2倍に拡大しています。今秋に打上げ予定のJCSAT-14など事業基盤を強化しながら、着実に同地域での衛星需要に対応します。

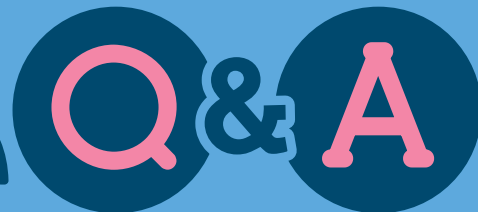
グローバル・モバイル事業の売上推移



株主の
みなさまの
疑問に
お答えします！



ここが
知りたい



Q.1

4Kテレビが普及すると
プレミアムサービスの加入件数は
増えるの？

A.1

プレミアムサービスチューナーが内蔵された4Kテレビが販売され始めましたが、現在4K放送は、試験放送の「Channel 4K」とスカパー！プレミアムサービスでしか見られません。そのため、家電量販店の4Kテレビコーナーではスカパー！プレミアムサービスが大きく取り扱われ、加入促進活動が行われています。

「スカパー！」サービスは、受信機がデジタルテレビに内蔵されてから、デジタルテレビの普及とともに「スカパー！」サービスへの加入が大幅に伸びたという実績があることから、今回も4Kテレビの販売に応じたプレミアムサービスへの加入件数の増加が期待されます。

❗ ここがポイント

既にチューナー内蔵型でない4Kテレビをお持ちの方の中には、4K放送対応プレミアムサービスチューナーを接続して当社の4K放送が視聴できるお客様もいらっしゃいます。このようなお客様に対してもプレミアムサービスの加入促進活動を行っています。

Q.2

今年度は前年度比増収増益の
業績予想となっているが、
その要因は何ですか。

A.2

営業収益については、有料多チャンネル事業では加入者増による業務手数料の増加等で1,222億円から1,240億円へ増収を見込んでおり、宇宙・衛星事業も、BCP(事業継続計画) 利用やグローバル・モバイル事業の収入増を見込んで、533億円から560億円への増収を見込んでいます。営業利益については、有料多チャンネル事業は、収入増に加えて、標準画質放送終了に伴い、放送センターを一本化したコスト削減効果が年間を通じて出ることや、前年度にかかっていたハイビジョンサービスへの移行費用が今年度はなくなることなどにより、24億円から50億円と倍増を見込んでいます。宇宙・衛星事業では、収入増と衛星減価償却費の減少により、178億円から185億円へ増加する見込みです。

❗ ここがポイント

中期経営計画上、2015年度に予定していた防衛省向け衛星の打上げが来年度にずれの可能性が高まったことから、それにかかる収益及び利益は今年度の業績予想には含まれておりません。しかしながらその他の収入の増加やコスト削減等により、当初の中期経営計画にて設定した営業利益目標200億円は達成可能と予想しています。

連結財務情報

▶ 連結財務ハイライト

(単位:百万円)

経営成績(会計年度):	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3
営業収益	141,850	155,242	159,609	1 171,683	163,294
営業総利益	55,822	56,180	53,441	60,430	59,119
営業利益	13,503	17,486	16,153	2 21,713	19,627
経常利益	12,394	16,702	15,698	21,529	19,580
税金等調整前当期純利益	9,862	15,897	15,643	18,543	20,362
当期純利益	4,421	8,569	9,682	3 9,659	13,515

営業活動によるキャッシュ・フロー	38,956	39,976	38,372	33,345	16,633
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,595	1,995	△11,119	△18,969	△34,746
フリーキャッシュ・フロー ^(※1)	10,361	41,971	27,252	14,375	△18,113

財政状態(会計年度末):					
現金及び現金同等物の期末残高	59,499	66,404	74,472	63,783	33,963
総資産	322,078	300,133	290,486	287,580	282,516
有利子負債残高	91,692	62,506	49,398	4 45,994	38,366
純資産	180,065	185,052	192,693	184,679	195,640

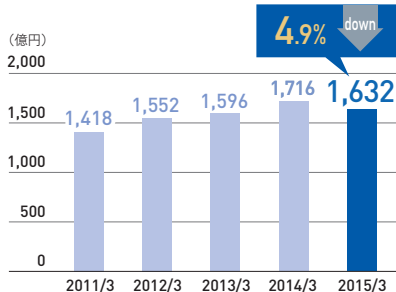
(単位:%)

その他指標:					
営業利益率	9.5	11.3	10.1	12.6	12.0
自己資本比率 ^(※2)	55.9	61.6	66.2	5 64.1	69.2
ROE(自己資本当期純利益率) ^(※3)	2.5	4.7	5.1	5.1	7.1

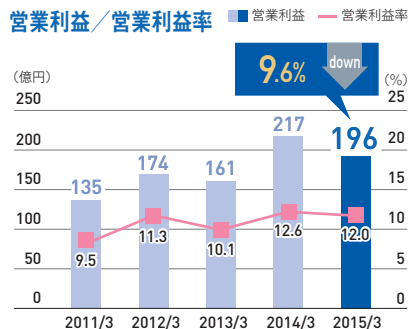
※1 フリーキャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー ※2 総資産に対する自己資本の比率

※3 ROE(自己資本当期純利益率)＝当期純利益／((期首自己資本＋期末自己資本)÷2)

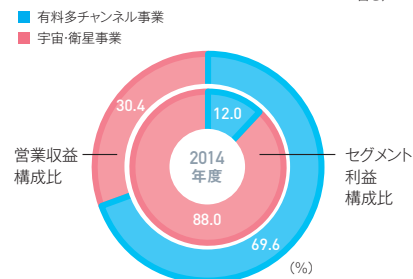
営業収益



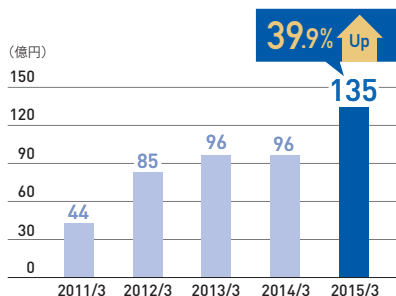
営業利益／営業利益率



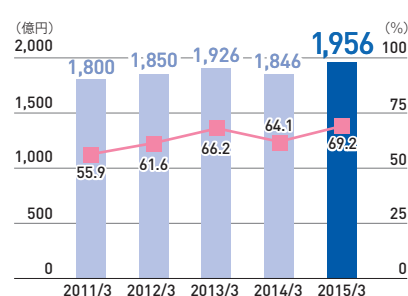
営業収益構成比／利益構成比 (内部取引を含む)



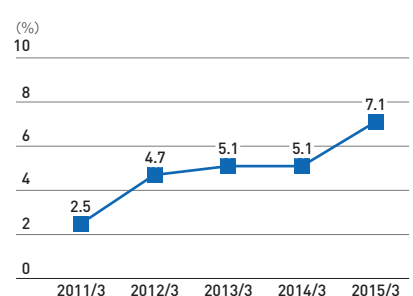
当期純利益



純資産／自己資本比率



ROE (自己資本当期純利益率) ※3



損益状況

営業収益①は、視聴料収入が増加したものの、標準画質サービス終了に伴う業務手数料およびトランスポンダ収入の減少や、前期の官公庁向けシステム更新受注の反動減等から前期比4.9%の減収となりました。**営業利益②**は、ハイビジョンサービスへの加入者移行費用や減価償却費は減少したものの9.6%の減益となりました。**当期純利益③**は投資有価証券の売却益増加や評価損減少に加え、国内子会社合併による繰越欠損金の使用等で法人税が減少し、前期比39.9%の増益となりました。

キャッシュ・フロー

営業キャッシュ・フローは、税引前当期純利益の増加や減価償却費の減少があった一方で、棚卸資産の増加等による支出増により前期と比較して減少、投資キャッシュ・フローは投資有価証券の売却及び償還による収入等が増加した一方で、有形・無形固定資産の取得による支出の増加により前期の支出を上回りました。営業キャッシュ・フローと投資キャッシュ・フローの合計であるフリーキャッシュ・フローはマイナスとなりました。

財政状況

総資産はXバンド衛星通信中継機能等の整備・運用事業に関する仕掛品、有形・無形固定資産が増加した一方で、現金・預金、売掛金、有価証券等の減少により前年度に比べて減少しました。負債合計は社債償還等により前年度から減少し、それに伴い**有利子負債残高④**は減少しました。**自己資本比率⑤**は当期純利益の増加等による純資産の増加で、69.2%と前年度から5.1ポイント上昇し、引き続き安定的な財務基盤を維持しています。

IR活動の充実に向けた取り組み

この度は「第8回株主様アンケート」にご協力いただき、誠にありがとうございました。今回は「当社のIR活動に期待すること」として、「株主通信の充実」を求める声が43.6%と最も高く、「ホームページの充実」「投資家向け説明会の拡充」がそれに続きました。皆様から頂戴したご意見・ご要望を真摯に受けとめ、今後のIR活動の改善と充実に努めてまいります。

第8回株主様アンケート

送付総数	31,750名
回答者数合計	2,765名
Web経由 279名 はがき経由 2,486名	
回答率	8.7%

株主通信の有益情報ランキング

- ① 宇宙・衛星事業概況
- ② 株主の皆様へ（トップメッセージ）
- ③ 有料多チャンネル事業概況

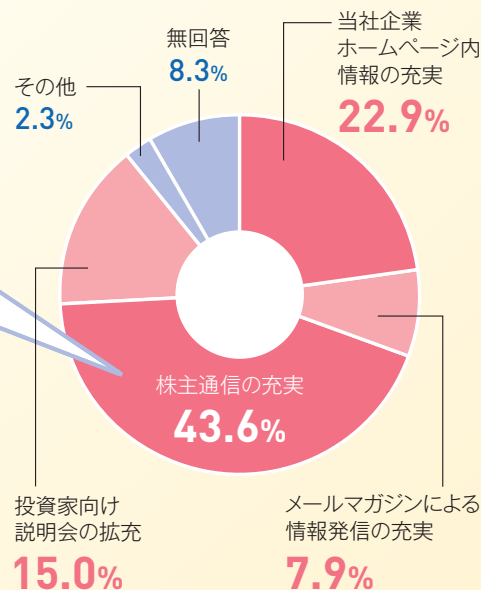
直近の両事業の事業概況、及び社長メッセージへのご関心が高いという結果になりました。特に宇宙・衛星事業はBtoBビジネスのため、身近に感じる機会が少ないので、よりわかりやすさを重視してまいります。このほか、当社事業をより深くご理解いただくために新設した「特集」「ここが知りたいQ&A」も10%近くの方が「有益」と回答され、深掘りした情報や、注目すべき情報へのご関心の高さが伺われました。また、4位にランクされた財務情報は、業績トレンドが把握しやすいハイライト形式に刷新いたしました。

今後の誌面充実に向けて

- 「特集」と「誌上見学会」は有料多チャンネル事業と宇宙・衛星事業関連のテーマを交互にご紹介！

特集では、日本のコンテンツの海外展開や衛星の社会的役割など、皆さまから高い関心が寄せられたテーマを取り上げていきます。誌上見学会では、なかなか入れない施設や当社事業所などにも潜入取材し、ご紹介していきます。

IR活動への期待



会社概要 2015年6月26日現在

会社名	株式会社スカパーJSATホールディングス (SKY Perfect JSAT Holdings Inc.)
設立	2007年4月2日
資本金	100億円
従業員数	813名(連結)2015年3月31日現在
所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂一丁目14番14号
電話番号	03-5571-1500(代表)
URL	http://www.skyperfectjsat.co.jp

取締役及び監査役

代表取締役会長	西山 茂樹	取締役(非常勤)	中谷 巖
代表取締役社長	高田 真治	取締役(非常勤)	森 正勝
取締役	仁藤 雅夫	取締役(非常勤)	飯島 一暢
取締役	小森 光修	取締役(非常勤)	平田 正之
取締役	小山 公貴	取締役(非常勤)	小笠原倫明
取締役	横水 伸次	監査役	坂本 憲昭
取締役	小牧 次郎	監査役	小川 晃
		監査役(非常勤)	勝島 敏明
		監査役(非常勤)	藤田 徹也

株式情報 2015年3月31日現在

発行済株式総数 344,603,700株 株主総数 28,883名

大株主

株主名	持株数	持株比率*
伊藤忠・フジ・パートナーズ(株)	76,568,800	24.84%
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)	26,057,000	8.45%
住友商事(株)	22,258,400	7.22%
日本テレビ放送網(株)	20,891,400	6.78%
(株)東京放送ホールディングス	18,434,000	5.98%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(三井住友信託銀行再信託分・三井物産(株)退職給付信託口)	13,405,200	4.35%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	5,135,800	1.67%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	4,595,300	1.49%
(株)電通	4,059,400	1.32%
ピーエヌピー パリバセック サービス ルクセンブルグ ジャステック アパディーン グローバル クライアント アセッツ (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	3,704,800	1.20%

上記のほか、自己株式が36,387,600株あります。
* 持株比率は、自己株式を除いて計算しております。

免責事項
本株主通信に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、これらは、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。

株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日
配当の基準日	期末配当3月31日 中間配当9月30日
取引市場	東京証券取引所 市場第1部
証券コード	9412
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

お問合せ先

お取扱窓口

証券会社に口座をお持ちの場合、各お取引の証券会社等へお問合せ下さい。
証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記「お取扱店」にてお取次いたします。

お問合せ先

〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く9:00~17:00)

お取扱店

みずほ証券 本店および全国各支店／プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)
みずほ信託銀行 本店および全国各支店

未払配当金のお支払

みずほ信託銀行 本店および全国各支店
みずほ銀行 本店および全国各支店
(みずほ証券では取次ぎのみとなります)

※支払明細の発行については、上記の「お問合せ先」または「お取扱店」をご利用ください。

スカパー!のおまけチャンネル、BSスカパー!

音楽、バラエティ、アニメ、スポーツ、ドラマ、ニュース・ドキュメンタリーなど幅広いジャンルをお楽しみください。

昨年10月にリニューアルしたBSスカパー!、もうご覧になりましたか。

さらに面白くパワーアップした番組、BSスカパー!ならではのラインナップをお届けしています。

広告放送である地上波では決してできない、スカパー!独自の番組作りを目指しています。

今回はその中から話題の番組「ダラケ!〜お金を払ってでも見たいクイズ〜」をご紹介します。

※BSスカパー!はスカパー!のご加入者が無料でお楽しみいただけるチャンネルです。

BSスカパー!で絶賛放送中!



「ダラケ!〜お金を払ってでも見たいクイズ〜」(写真)



この他にも
見逃せない
企画番組が満載の
BSスカパー!を
ぜひご覧ください。

「ダラケ!」ってどんな番組?

キワでコアな世界の体験者だけが登場するクイズバラエティ番組です。宇宙人とコンタクトをとる「宇宙人コンタクト」や「究極のサバイバー」「万引きGメン」など、ディープな世界の「ダラケさん」たちが大集合。一般人には知る由もないコトを、司会の千原ジュニアさんが深く掘り下げ、毎週驚きの連続です。視聴者の好奇心を刺激する「ダラケ!〜お金を払ってでも見たいクイズ〜」を、どうぞお楽しみください。

BSスカパー!チャンネルをお楽しみいただくために…

- ▶スカパー!をご契約の方は**チャンネル241**、プレミアムサービスをご契約の方は**チャンネル585**に合わせるだけで、**24時間無料**でご覧いただけます。
- ▶スカパー!未加入の方はまずスカパー!にご加入ください。

スカパー! <http://www.skyperfectv.co.jp/guide/>

プレミアムサービス <http://www.skyperfectv.co.jp/premium/guide/>

※お客様の個人情報に関する取り扱いにつきましては、
当社公式サイト上のプライバシーポリシーをご確認いただき、同意の上、お申込みください。

お問い合わせはスカパー!カスタマーセンターへ フリーダイヤル:0120-039-888

